

# 平成26年定期総会議案書

## 定期総会式次第

### 開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議事

第1号議案「平成25年度（第10期）事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成25年度（第10期）会計監査報告」

第3号議案「平成26年度（第11期）事業計画案および会計予算案」

議長解任

### 閉会のことば

15時から、第38回研修会を開催します。

講演者 田原 賢 先生（木構造建築研究所 所長）

「建築基準法及び耐震化事業の残された問題点」

～木造住宅の耐震化が抱えたままの問題点～

15：00～16：15 講演

16：25～17：00 質疑応答

定款（通常総会に関連する部分の抜粋）

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。

## 【第1号議案】「平成25年度（第10期）事業経過報告および会計決算報告」

### 1. 事業内容

#### 1.1 定款・役員変更

平成25年度（2013年度）のNPO法人都市災害に備える技術者の会では、事務的に滞っていたNPO法改正に伴う定款変更手続き、および役員変更手続きを行いました。法務局登記が平成26年2月に完了し、新しい体制となりました。

主な変更点は、以下の4点です。新しくなった定款は、新旧対照表とともにホームページに掲載してありますので参照してください。

- ① 2か所登記していた事務所を、西宮市内の1箇所としたこと
- ② 特定非営利活動の種類を、新しいNPO法の分類に修正したこと
- ③ 収益事業を無くし非営利事業のみの活動としたこと
- ④ 役員数を14人（理事12、監事2）を、理事3～10人、監事2人に改めたこと

新役員名簿		
理事	伊藤 東洋雄（理事長）	
	石川浩次（副理事長）	
	片瀬範雄（副理事長）	
	廣野一道	
	太田英将（事務局長兼務）	
監事	山田信祐	清水煌三

#### 1.2 活動内容

活動は、①WG活動の実施、②研修会、③出前授業・出前講習会の活動を中心に行いました。

##### ① WG活動の実施

ボランティアな組織であるNPOは、会員のWG活動で成り立っています。WG活動の状況は、24年度にリニューアルしたホームページ

（<http://toshisaigai.net/katudou.html>）によって、会員および一般市民に情報発信するようにしています。議事録等がアップロードされ更新された情報については、メーリングリスト（owner-toshisaigai-ml@toshisaigai.net）で会員に逐次お知らせするようにしています。

以下に主な活動の一部を掲載します。

例会は、現在各WGで活動する方々が重複しているため、WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で、旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。現在WG-Dのリーダーである伊藤氏（新理事長）は、東北地方復興の支援で気仙沼に昨年度から2年間の予定で行かれていますので、その他の会員での活動となっています。

② 研修会

本年度は、4月に開催した第37回研修会『南海トラフ巨大地震と関西の地震防災を考える』河田恵昭先生（関西大学社会安全研究センター長）を実施しました。120名収容の会場に立ち見が出るほどの聴衆を集めました。

③ 出前授業・出前講習会等

出前講習は、主に奈良県で会員の柏田勝幸さんが主となって開催される防災講演会が行われました。また、神戸市内の建設会社や行政・OBを対象にした講演会も開催されました。

個別の活動記録は、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成25年度）

定款の事業名	事業内容	実施日	場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第37回研修会『南海トラフ巨大地震と関西の地震防災を考える』河田恵昭先生（関西大学社会安全研究センター長）	平成25年4月27日	大阪科学技術センター	3人	技術者 140人	—
災害予防・災害発生後の対策提案	奈良県田原本町八尾池之内自治会防災講習会報告「自主防災組織の設立について」	平成25年4月30日	田原本町八尾	1人	自治会役員 5人	—
災害予防・災害発生後の対策提案	奈良県千代ヶ丘自主防災、西千代ヶ丘自主防災 地震災害による自助、共助（ロープワーク、ファストエイド）	平成25年9月1日	三碓小学校	1人	小学生 120人	—
災害予防・災害発生後の対策提案	奈良県御所市西寺田地区防災講習会 地域の防災活動	平成25年10月27日	西寺田公民館	1人	市民 31名	—
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	平成25年度神戸市安全協力会研究会「神戸の地盤防災を考える」	平成25年11月6日	三宮勤労会館	2人	神戸市内の建設会社 30社31人	—
災害予防・災害発生後の対策提案	奈良県田原本町西八尾親和会防災講習会 高齢者に対する防災対策について	平成25年11月2日	田原本町西八尾公民館	1人	集いの会 9名	—

災害予防・ 災害発生後 の対策提案	天理市北桜垣自主防災組織防災講習会 炊き出し訓練	平成 25 年 11 月 3 日	北桜垣自治 会館	1 人	自主防災会 60 人	—
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	草の根活動報告 西大寺北地区自主防災・防犯会 「あっ！地震だ（震度 7） その時の避難生活は」	平成 25 年 11 月 3 日	奈良市西大 寺北小学校	1 人	自主防災・ 防犯会 420 人	—
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	防災・減災研修会（桜井市ボランティア連絡協議会） 障害がある方とともに、災害緊急時の心構えと支援の在り方	平成 25 年 11 月 30 日	桜井市福祉 センター	1 人	市民 93 人	—
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	防災・減災研修会（上牧町シルバークラブ連合会） 上牧防災講習会 高齢者向けの防災対策について	平成 25 年 12 月 2 日	上牧保健福 祉センター	1 人	市民 100 人	—
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	防災・減災研修会（河合町高塚台 2 丁目自主防災） 家具転倒防止の講習会	平成 25 年 12 月 7 日	河合町高塚 台 2 丁目集 会所	1 人	市民 26 人	—
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	K-TEC 定例会への講師派遣報告 「神戸の地盤防災を考える」	平成 25 年 12 月 10 日	こうべまち づくり会館	1 人	行政・OB 25 人	—

## 平成 25 年度（第 10 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位 円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収	会費・入会金収入	220,000	230,000	10,000	正会員36、賛助2 入会0
	受託業務	0	0	0	
入	前年度からの繰越金	2,650,624	2,650,624	0	
	雑収入	48	48	0	利息
	収入合計	2,870,672	2,880,672	10,000	

	項目	予算	決算	差額	備考
支	事業費	135,000	70,660	-64,340	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	10,000	0	-10,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	20,000	1,820	-18,180	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	10,000	0		
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	70,000	49,100	-20,900	研修会等
	会場借用料	15,000	0	-15,000	
	印刷費等	5,000	40,200	35,200	ニューズレター印刷
	講師旅費	45,000	0	-45,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	5,000	8,900	3,900	会員へのメール便送料
出	その他	0	0	0	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	0	0	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	19,740	-260	プロパダ料金等
	ウェブサイト費用	20,000	19,740	-260	
	管理費	85,000	222,874	137,874	
	会議費	5,000	0	-5,000	
	旅費交通費	0	0	0	
	備品等整備費	5,000	0	-5,000	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手数料	60,000	202,477	142,477	決算他登記費用
交際費	0	0	0		
支払い手数料(事務局費)	10,000	20,397	10,397	事務諸費用	
予備費	0	0	0		
支出合計	220,000	293,534	73,534		
当期収支差額（次年度繰越金）		2,650,672	2,587,138	-63,534	

**【第2号議案】「平成25年度（第10期）会計監査報告」**

平成25年度(第10期) NPO法人都市災害に備える技術者の会  
会計監査報告書

私たち会計監査は、平成25年度(第10期)NPO法人都市災害に備える技術者の会会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

1. 監査実施日時	平成26年6月3日
2. 監査帳簿類	活動計算書 貸借対照表 仕訳日記帳 総勘定元帳 当期の証票（領収書） 預金通帳

平成26年6月3日

監事 清水 煌三 

1. 監査実施日時	平成26年6月1日
2. 監査帳簿類	活動計算書 貸借対照表 仕訳日記帳 総勘定元帳 当期の証票（領収書） 預金通帳

平成26年6月1日

監事 山田 信祐 

## 【第3号議案】「平成26年度（第11期）事業計画案および会計予算案」

### 1.事業計画

本年度は、新体制に完全移行した最初の年度であり、会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。もし、ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。さらに、近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとの交流も可能な限り行います。

また、当NPO会員の主たる活動の場であるWG活動などを通じて地域に根ざした活動を引き続き行うなど、小さな活動から徐々に実績をつけるようにしていきます。

### 特定非営利活動に係る事業

#### 【会員向け活動】

##### 1.研修会

概ね2回程度研修会を開催します。参加は会員のみならず、一般市民へも呼びかけます。

##### 2.メールングリスト・ニューズレターの活用

即時性を重視し、WEBとメールングリストによる情報発信形態に切り替えて行きます。ニューズレターは、会員からの投稿を中心に作成し、2ヶ月に1度の割合での刊行を目指します。

##### 3.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として活動を行っていきます。

#### 【社会に向けた活動】

##### 1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。

##### 2.WEBでの広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメールングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

##### 3.市民からの相談に答える

WEBに相談窓口を設け、WGメンバーが中心となって一般市民からの相談事にも対応していきます。

##### 4.防災啓発本 『(仮称)土地を買う前に読む本・家を建て替える前に読む本』出版事業

前年度に、JR西日本あんしん社会財団の補助を申請し、紙媒体での出版、無料配布を計画しておりましたが、残念ながら採択されませんでしたので、電子本形式でWEBから閲覧できるものを作成する予定です。会員の皆様からの情報も期待しております。

## 平成 26 年度（第 11 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（設立日平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収	会費・入会金収入	230,000	230,000	正会員36、賛助2 入会0
	受託業務	0	0	
	小計	(230,000)	(230,000)	単年度収入小計
入	前年度からの繰越金	2,650,624	2,587,138	
	雑収入	48	48	利息
	収入合計	2,880,672	2,817,186	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
	事業費	70,660	350,000	
	(1) 市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	20,000	防災講習講師費等
	(2) 災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	20,000	
	(3) 災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	1,820	60,000	WG活動費
	(4) 災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	20,000	
	(5) 防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	49,100	180,000	研修会等
	会場借用料	0	60,000	
	印刷費等	40,200	40,000	ニュースレター印刷
	講師謝礼旅費	0	60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	8,900	20,000	会員へのメール便送料
	その他	0	0	
	(6) 防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	30,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	19,740	20,000	
	ウェブサイト費用	19,740	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	222,874	110,000	
	会議費	0	10,000	
	旅費交通費	0	10,000	旅費
	備品等整備費	0	10,000	封筒代等
	消耗品費	0	10,000	
	登記料	202,477	60,000	決算登記費用
交際費	0	0		
支払い手数料(事務局費)	20,397	10,000	事務諸費用	
予備費	0	0		
支出合計	293,534	460,000		
当期収支差額（次年度繰越金）		2,587,138	2,357,186	

## WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
防災教育WG (WG-A)	まちづくり・教育を考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。WG-Dと合同で活動を行います。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体（自主防災組織や防災団体など）と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

※WG活動が会員活動の中心になりますので、同じ思いをもつもの同士が新しいWGをつくって活動していただきたいと思います。事務局までご連絡下さい。

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (有限会社太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123
	WEB	<a href="http://www.toshisaigai.net">http://www.toshisaigai.net</a> e-mail:office@toshisaigai.net
	役員	理事 伊藤 東洋雄 (理事長) 石川 浩次 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 廣野 一道 太田 英将 (事務局長兼務) 監事 山田信祐 清水煌三
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生

※NPO法改正により、所轄庁は内閣府から兵庫県知事になりました。